

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 柳澤組)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			経営者が積極的に関与し、性別、年齢、障がい、出身などによる差別をしない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			社員の子育て応援宣言に登録している。(長野県)ハラスメントを禁止していく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8											16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法の改正内容を社内で共有し、労働生産性の向上に取り組んでいる。								8.5 8.8											
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在は、外国人労働者は在籍していないが、雇用時には差別、人権侵害がない事を確認していく。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			毎月、社員、作業員向けに安全会議を実施し、安全衛生の周知徹底をしている。			3					8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			上司、同僚に話のしやすい現場環境作りに努め、メンタルヘルスが良好に維持できるようにしている。			3																
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が活躍できるように、社内環境を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			【予定】 職場や役割に必要な資格、免許取得の援助をしていく。				4	5.5			8	9										
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働、同一賃金に沿った対応をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			毎年全社員の健康診断を実施している。			3					8											
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の管理、処理を適切に行い排出量や種類を把握している。										11.6	12.4		14.1						
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			自社の石油使用量、電気使用量を把握している。							7.3					13							
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			把握した使用量をもとに、抑制、削減に取り組んでいる。							7.2 7.3				12.4	13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			【予定】 法令で規制されている有害物質を把握し、削減していく。			3.9			6.3				11.6	12.4								

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定

全設問回答一覧

※本シートはあなたの回答を確認するためのものです。回答は「Step1～5」、および「取組みのセルフチェック」の各シートに対して行ってください。

問No.	設問	あなたの回答	回答オプションの説明
Step 1: SDGsを理解する			
社会的存在意義(パーパス)の理解			
問1	あなたの組織は、社会における存在意義を理解し、「パーパス*」「経営ビジョン」などの形で明確に定義していますか。	<input type="radio"/>	定義している
経営陣のSDGsの理解			
問2	SDGsに対する経営陣の理解度について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="radio"/>	経営陣が、SDGsの基本的意義について理解している
		<input type="radio"/>	経営陣が、SDGsについての研修を受けている
		<input type="radio"/>	経営陣が、SDGsに取り組まないことで生じる経営上のリスクを把握している
		<input type="radio"/>	経営陣が、SDGsに取り組むことで生まれる経営上のチャンスを把握している
従業員のSDGsの理解			
問3	SDGsに対する従業員の理解度について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="radio"/>	従業員に向けて、日々の業務の中で、SDGsやSDGsに関する自社の取り組みを周知している
		<input type="radio"/>	従業員に向けて、SDGsに関する研修を実施している
		<input type="radio"/>	SDGs推進企業登録後の3年間で、従業員のSDGsの理解度を確認した
		<input type="radio"/>	従業員のSDGsの理解度を定期的・継続的に確認する仕組みを設けている

Step 2: 優先課題を決定する

「環境」に与える影響の把握

問1	自社の事業が「環境」に与える影響について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="radio"/>	プラスの影響を把握している
		<input type="radio"/>	マイナスの影響を把握している

		-	影響度を測定する際の基準となる指標を定めている
「経済」に与える影響の把握			
問2	自社の事業が「経済」に与える影響について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="radio"/>	プラスの影響を把握している
		<input type="radio"/>	マイナスの影響を把握している
		-	影響度を測定する際の基準となる指標を定めている
「社会」に与える影響の把握			
問3	自社の事業が「社会」に与える影響について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="radio"/>	プラスの影響を把握している
		<input type="radio"/>	マイナスの影響を把握している
		-	影響度を測定する際の基準となる指標を定めている
優先的に取り組む社会課題の設定			
問4	自社の事業が「環境」「経済」「社会」に与える影響を把握したうえで、自分たちが優先的に取り組む「社会課題」を設定していますか。	<input type="radio"/>	設定している
		-	設定しており、かつ、それがSDGsと紐づいていることを明確にしている

Step 3: 目標を設定する

社会課題解決に向けた施策と目標の設定

問1	社会課題に対して企業として行動を起こしていくための、施策と目標の設定状況について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="radio"/>	自社が優先的に取り組む社会課題の解決に向けて、自社の事業の一部としての施策を設定している
		<input type="checkbox"/>	設定した施策は、企業の中長期的な(1~5年程度の)活動指標に落とし込まれている
		<input type="checkbox"/>	設定した施策は、企業の短期的な(日ごと~月ごとの)目標に落とし込まれている
		<input type="checkbox"/>	設定した施策と目標は、従業員一人ひとりの日々の業務に落とし込まれている
		<input type="checkbox"/>	設定した施策と目標は、自社の社会的存在意義(#1における「パーパス」「経営ビジョン」、「経営理念」など)に対して一貫したものになっている

施策間の関係把握

問2	会社として定めた施策群について、施策間の関係性を考慮できていますか。	<input type="radio"/>	施策間の関係性を考慮している
----	------------------------------------	-----------------------	----------------

Step 4: 経営に統合する

企業行動とSDGsのつながりの「自分ごと化」

問1	自社の社会的存在意義(≒「パーパス」「経営ビジョン」「経営理念」)、中長期的な経営戦略、SDGsのつながりについて、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="radio"/>	経営陣は、自社の社会的存在意義、中長期的な経営戦略、SDGsを紐づけている
		<input type="checkbox"/>	経営陣は、自社の社会的存在意義と経営戦略、SDGsのつながりを、従業員に向けて定期的に発信している
		<input type="checkbox"/>	自社の社会的存在意義と経営戦略、SDGsのつながりについて、従業員の理解を促進するための施策を行っている
		<input type="checkbox"/>	従業員は、日常業務や部署の役割がSDGsにどのようにつながっているかを理解しており、自らの業務が企業の行動としてSDGsに影響を与えるのだという感覚が「自分ごと化」されている
SDGs経営に基づく事業設計			
問2	自社が行っている事業について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="checkbox"/>	既存事業は、自社の社会的存在意義を体現し、SDGsの達成に貢献しているものになっている
		<input type="checkbox"/>	既存事業は、自社の社会的存在意義とSDGsに照らし合わせ、定期的に内容の見直しが行なわれている
		<input type="checkbox"/>	新規事業を立ち上げる際は、それが自社の社会的存在意義を体現しているか、SDGsへの貢献につながるかを精査している
SDGs観点での経営評価			
問3	自社の経営評価体制について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="checkbox"/>	第三者機関から、SDGsの観点で定期的な評価を受けている
		<input type="checkbox"/>	経営陣によって、SDGsの観点で経営評価が行なわれている
		<input type="checkbox"/>	SDGsの観点での経営評価が、従業員に向けて公表されている
SDGs経営実装のためのステークホルダーの特定			
問4	SDGsへの取り組みを進める体制について、当てはまるものを全て選択してください。	<input type="checkbox"/>	社内にSDGs推進専門の部署を設けている(または推進担当者を設けている)
		<input type="checkbox"/>	SDGs推進部署/担当者の設置に加え、会社全体として、SDGsへの取り組みを推進する体制を整備している
		<input type="radio"/>	経営者が自ら担当している(個人事業主等に該当する場合を含む)

		-	SDGsへの取り組みにおいて、連携すべき社外のパートナーを選定している
--	--	---	-------------------------------------

Step 5: 報告とコミュニケーションを行う

社会への発信(主体)

問1	SDGsへの取り組みや自社事業との繋がりについて、誰が社外発信を行っていますか。当てはまるものを全て選択してください。	-	経営リーダーが発信している
		○	SDGs推進担当者が発信している
		-	企業広報が発信している

社会への発信(内容)

問2	SDGsへの取り組みや自社事業との繋がりを社外発信する際の内容について、当てはまるものを全て選択してください。	-	目標に対する進捗状況を、データを基に客観的に報告している
		○	「環境」「経済」「社会」に対するプラスの影響を報告している
		-	「環境」「経済」「社会」に対するマイナスの影響を報告している

社会への発信(形式)

問3	SDGsへの取り組みや自社事業との繋がりを、どのような形式で社外発信していますか。当てはまるものを全て選択してください。	-	サステナビリティ報告書(統合報告書等)またはそれに準じる刊行物を発行している
		-	正規の報告書だけでなく、様々なチャネルを活用して広くSDGsに関する取組みを発信している

取組みのセルフチェック

【人権・労働 | 基本】 雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制の構築(No.1)

問1	人権尊重や差別の禁止に関する方針を、就業規則等に明記していますか。	○	明記している
----	-----------------------------------	---	--------

【人権・労働 | 基本】 長時間労働の防止(No.3)

問2	従業員の労働時間を把握し、過度な長時間労働防止のための取組みを行っていますか。	○	労働時間の把握をしている
		○	労働時間を把握し、削減のための取組みを行っている

【人権・労働 | チャレンジ】 「職場いきいきアドバンスカンパニー認証」「健康優良法人認定」等の取得(No.2,10)

問3	「職場いきいきアドバンスカンパニー認証」や「健康優良法人認定」等、労働環境や健康経営に関する認証を取得していますか。	-	取得している
		-	該当しない(個人事業主等)

【環境 | 基本】 自社のエネルギー使用量・温室効果ガス/廃棄物排出量の把握と、抑制のための取組(No.13)

問4	自社の廃棄物の排出量を把握していますか。	○	把握している
		○	把握した上で、削減に向けた取組みを行っている
問5	自社のエネルギー使用量を把握していますか。	-	把握している
		-	把握した上で、削減に向けた取組みを行っている
問6	自社の温室効果ガス排出量を把握していますか。	-	把握している

【環境 | チャレンジ】 「ISO14001」「エコアクション21」または同等の環境マネジメント規格の取得(No.18)

問7	「ISO14001」「エコアクション21」または同等の環境マネジメント規格を取得していますか。	-	取得している
		-	該当しない(個人事業主等)

【公正な事業慣行 | 基本】 汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範の整備(No.22)

問8	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っていますか。	○	行動規範を整備し、社内浸透を図っている
----	------------------------------------	---	---------------------